

ほっとニュース

第43号

春一番も吹いて、次第に春の訪れが近づいてまいりました。年度末が近づき、皆さまお忙しい日々を送っておられるのではないのでしょうか。前回のほっとニュースでもお知らせしましたが、PASネットはこの2月23日(土)に西宮市勤労会館にて「にしのみや権利擁護支援フォーラム」を開催しました。このフォーラムの準備に向けてPASネットも年明けから多忙な日々を送ってまいりました。フォーラムの詳しい内容はこの後に記載しますが、西宮市の行政・福祉・司法関係者の総力が集結したフォーラムとなり、各方面からご好評をいただくことができました。ご協力いただいた皆さま、またご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、PASネットも来年度は設立5周年を迎えることとなります。現在、来年度の事業計画を検討しているところなのですが、その中で5周年記念イベントとして何か企画したいと考えております。また、これまでの事例検討会や研修会等もリニューアルを検討しております。何が飛び出すか...5周年のPASネットの企画にどうぞご期待ください！

1、厚生労働省障害者自立支援調査研究プロジェクト

今年度の下半期、PASネットでは厚生労働省の障害者自立支援調査研究プロジェクトの助成金をいただきまして、西宮市の全面協力のもと、「地域における障害者・高齢者・児童の一元的・継続的な権利擁護支援システム構築に関する調査研究事業」を実施しております。このプロジェクトの一環として、去る2月23日西宮市勤労会館にて「にしのみや権利擁護支援フォーラム」を開催いたしました。プログラムは前半が北野誠一さん(東洋大学ライフデザイン学部教授)による基調講演、「地域ですすめよう権利擁護支援」というビデオの上映を挟んで後半にパネルディスカッションを行いました。

基調講演では、現実社会は醜悪で、資源や法制度も乏しいという実態はあるけれども、北野先生曰く、「弱く強い」「脆くしづとい」「くちゃくちゃで美しい」そんな人間臭い生き方をおおいに受け入れる社会の実現に向けての熱い思いが語られました。あまり熱心に語られたために、パワーポイントを動かすことを忘れておられたようですが、北野先生の思いはきっと客席に届いていたと思います。

「地域ですすめよう権利擁護支援」というDVDは、「権利擁護」に関わる相談支援を行っている行政窓口、地域包括支援センター、障害者あんしん相談窓口、加えて法律家である弁護士・司法書士、恥ずかしながらPASネットの活動も紹介しました。それぞれの立

場から支援の実際や課題を語り、それをパネルディスカッションのテーマ「地域に権利擁護支援センターを作ろう」につなげることを意図して制作したものです。

パネルディスカッションでは、コーディネーターを藤井博志さん(神戸学院大学准教授)が務め、パネラーとして曽根直樹さん(東松山市総合福祉エリア施設長)、町田竹之さん(西宮市長寿福祉グループ)、谷村慎介さん(弁護士・社会福祉士)、玉木幸則さん(メインストリーム協会副代表)をお迎えしました。曽根さんが施設長を務める東松山市総合福祉エリアでは、障害のあるなしで分けない、ハンディキャップの状態にある全ての人を支援することを基本理念とし、障害者・高齢者・児童を分けることなく相談から具体的なサービスまでワンストップの支援体制が構築されています。また来年度からは成年後見サポートセンターが立ち上がり、生活支援に加え権利擁護支援も具体化することになっています。曽根さんのパワーポイントを使っての説明に、身を乗り出して傾聴する方が大勢おられました。他のパネラーからはこの東松山市の取り組みを参考にして、地域に権利擁護支援センターを作る必要性、その具体化への方策等が語られました。今回のフォーラムの開催が権利擁護支援センター構築への布石になることを願いつつ、フォーラムは閉幕しました。

実はこの日は雨が降ったり、雪が降ったり、陽が差したかと思えば嵐のような風が吹き荒れた1日でした。こんな悪天候にもかかわらず180名を越える方々にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

2、事例検討会報告

今年度は出張事例検討会と題し、西宮、尼崎、伊丹、芦屋とまわり、1月・2月は宝塚での開催となりました。実はこの事例検討会は2月で最終回を迎えました。現在のような形式での事例検討会をずいぶん長い間続けてきたのですが、来年度からは新たな形にリニューアルすることを検討しています。(実は上田理事長は同じことを長く続けることが嫌いなんです・・・)というわけですので、事例検討会報告は今回で最後となりそうです。

2月の事例検討会は障害者の地域自立生活支援ということで、宝塚市障害者自立生活支援センターの中山猛さんから2つの事例を提供していただいたの検討となりました。

2例とも長く施設で生活をされてきた全身性障害の方の地域移行の事例でした。長年の施設暮らしで社会経験が不足、そのために例えば日常金銭のコントロールや一般的な判断が心もとない方の地域自立生活をどう支えていくのか。また、地域移行に反対する家族への対応や今後の家族関係の修復などの課題もあります。ひとりの方は成年後見制度を利用されているのですが、全身性の身体障害の方で果たして利用は適切だったのか。成年後見制度はご本人の権利を守る一方で、ご本人の権利行使を阻むものでもあります。ご本人をエンパワメントする支援のあり方を考えさせられました。

さて、事例検討会はひとまず今回で終了となりますが、また新たな学習会・講座にリニ

ユーアルする予定ですので、詳細が決まりましたらお知らせしたいと思います。これまでご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

後見こぼれ話 ……後見業務の一端をご紹介します！

この冬はとても寒かったですね。そのせいか、PASネットが法人後見をしている方で高齢のお二人の方が体調を崩されて入院となりました。お二人とも救急搬送という形での入院となったのですが、今世間では搬送先がなく、いくつもの病院から拒否されるということが社会問題となっています。幸いお二人とも無事に入院はされたのですが、実はその後の課題も大きいのです。転院先を探したり、老人保健施設に申し込んだり、ご本人にはリハビリを励ましたり…。ご本人の希望、体の状況、まわりの環境、財政的な問題などいろいろ考えると、判断するというのはなかなか難しいですね。なんとかご本人の希望に沿えるように、支援者の協力を得ながら決断していきたいと思っていますが、試練の春となりそうです。

~ TOPIC ~

「PASネット第12回ネットワーク会議」のお知らせ

PASネットでは、3月15日(土)に第12回ネットワーク会議を開催いたします。このネットワーク会議は弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職間のつながりを深めることを目的に開催している会議なのですが、今回は拡大版ネットワーク会議とし、ゲストに神奈川県「湘南ふくしネットワークオンブズマン」の皆さまをお招きしてのミニシンポジウムを企画いたしました。今回は特別企画として「参加資格」は問いませんので、是非皆さまご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

日時：2008年3月15日(土) 午後1時半～4時半
場所：西宮市総合福祉センター 別館2階 多目的ルーム
テーマ：湘南から後見の風～湘南ふくしネットワークオンブズマンの活動～
定員：50名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

*お問合せは特定非営利活動法人PASネット

0798-22-7551 までお願いいたします。

会員更新のお願い

来年度も引き続きPASネットの活動にご理解・ご協力いただける方は、ぜひ会員の更新をよろしくご願いいたします。

正会員(個人のみ)	入会金	1万円
	年会費	1万円
支援会員	入会金	無料
	年会費(個人)	1口3千円(何口でも可)
	年会費(団体)	1口1万円(何口でも可)

～あとがき～

PASネットー大イベント「にしのみや権利擁護支援フォーラム」を無事に終えることができました。実はこの準備が大変だったのです。フォーラム実行委員会が結成され、実行委員の方々が企画からビデオの制作、当日の準備などなど東奔西走の活躍をしてくださいました。感謝・感謝です。さてPASネットのフォーラム担当はW相談員でした。このW相談員はその見かけからは想像できないほどずば抜けた体力の持ち主なのですが、それでもフォーラム前は栄養ドリンクを何本も飲みながら毎晩夜遅くまで奮闘しておりました。実は3人の育ち盛りの子供のお母さんでもあり、他のスタッフはひそかに「育児放棄か？」と心配したのですが、当のW相談員は「近く中華料理屋さんが子供を育ててくれている」と笑い飛ばしてくれました。なんかスゴイひとですよ？フォーラムが終わった今、残るはプロジェクトの報告書の作成です。W相談員、今度はこっちのほうをよろしくご願いま～す。(BB)